

フィッシング対策協議会

月次報告書（2006年5月分）

フィッシング情報届出状況

2006年6月20日

目次

1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況.....	4
1.3.	フィッシングサイトの国別トップ 10	4
1.4.	フィッシングメールの動向.....	4
1.5.	フィッシングサイトの動向	5
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	5
1.7.	その他の動向	5
1.8.	総括.....	5

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

2006年5月度のフィッシング報告件数は2件でした。

・フィッシング情報の届出件数： 2件

2006年：1月度6件、2月度40件、3月度7件、4月度4件

2005年：3月度2件、4月度0件、5月度0件、6月度1件、7月度1件、10月度2件、
11月度2件、12月度0件、

・フィッシングメールの件数： 2件

・フィッシングサイトの件数： 2件

2006年：1月度3件、2月度6件、3月度3件、4月度3件

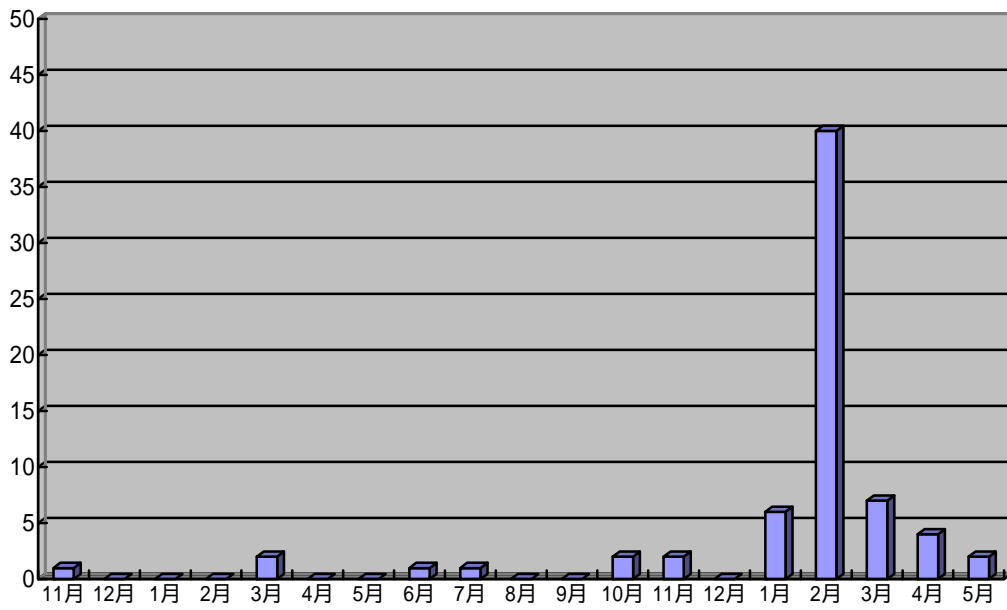
2005年：3月度2件、4月度0件、5月度0件、6月度1件、7月度1件、10月度2件、
11月度2件、12月度0件

・フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数： 2件

2006年：1月度3件、2月度4件、3月度3件、3月度3件、4月度3件

2005年：3月度2件、4月度0件、5月度0件、6月度1件、7月度1件、10月度2件、
11月度2件、12月度0件

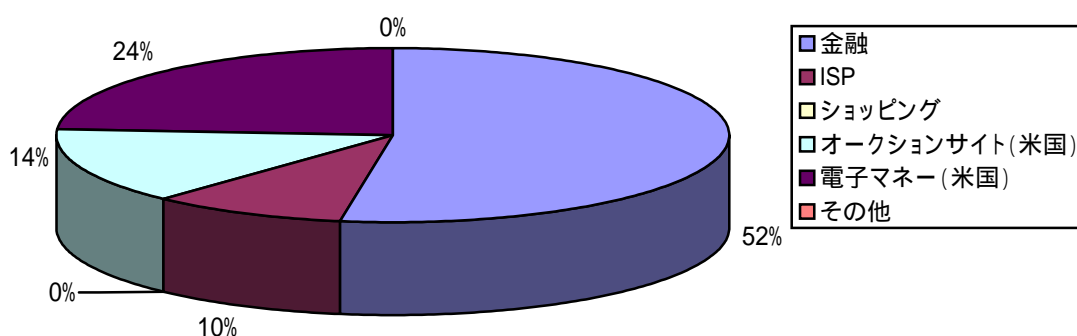
・もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国： アメリカ(1件)ルーマニア (1件)



フィッシングサイトの報告件数(2004年11月～2006年5月)

1.2. 業種別の状況

2004年11月度から2006年5月度までの統計は従来までの金融関連11件、ISP2件、オークションサイト3件（米国2件・日本1件）、電子マネー5件（米国）という統計になっています。



業種別の状況（2004年11月～2006年5月）

1.3. フィッシングサイトの国別トップ10

現在では台湾、英国、カナダ、ウルグアイ、ポーランド、韓国、ハンガリーが各1件、日本3件、ルーマニア、ペルーが各2件、中国が3件、米国が8件確認されています。

1.4. フィッシングメールの動向

今回報告された2件のフィッシングメールは、ともに「アカウントが侵害された恐れがあるためログインして確認せよ」というものでした。どちらもHTMLメールに偽装リンクを設置してフィッシングサイトへ誘導させていました。

1.5. フィッシングサイトの動向

5月に報告のあったフィッシングサイト2件に関しては、誘導先のURLは本物とは全く違っており、紛らわしいURLの使用などは認められませんでした。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

特にありません。

1.8. 総括

5月は、14歳の少年によるフィッシング詐欺の書類送検や、フィッシング詐欺団の逮捕がテレビなどで大きく取り上げられたため、一般消費者のフィッシングに対する認知度もさらに高まったものと考えられます。

報告された情報については、標的となった商標、手口ともに特に目立ったものはありませんでした。